

校長室
だより おみつ子通信

思い合いの心でみんなが笑顔！

令和7年11月28日

麻績小学校
No. 9



文責：尾台

自分のよさを力に

「人の話をちゃんと聞けるところ」「時間はかかるけど、最後までしっかりやれるところ」「明るくて元気なところ」「虫を捕まえることが得意なところ」…児童昇降口にある麻績小「花さき山」（自分や友だちのよいところ、友だちにしてもうってうれしかったことなどを書いて貼っていく活動）には、子どもたちが咲かせた素敵な花でいっぱいです。

「自分のよさや友だちのよさに気づく」ことを目標とした11月のなかよし月間。期間中には、上記の「花さき山」の活動だけでなく、全校で力を合わせながら楽しむ児童会主催の「なかよし集会」や、外部講師を迎えた「車いすボールチャレンジ」なども行われ、自分のよさについて再認識するとともに、改めて他者についても知る、知ろうとする機会が多くありました。

心豊かに生きていく上で、まず自分のよさを知り、「自分らしさ」を肯定的に受け止められる素地が必要です。今回の月間だけでなく、これからも自分や他者のよさに目を向け、お互いの「らしさ」を認め合いながら、生きる力にしていってくれたらと願います。

「花さき山」には、自分のよいところだけでなく、「〇〇くんは、みんなのために工作をして楽しめてくれる」というような友だちのよいところ、また「〇〇さんが、マラソンと一緒にやってくれてうれしかった」というような、友だちにしてもうってうれしかったことも、たくさん花になって咲いています。



11月の麻績小ダイジェスト



＜村の文化祭に参加＞ 11月2、3日に行われた村の文化祭に、子どもたちの絵画、立体、習字作品等も展示していただきました。見に来てくださった方々にも、小学校の図工や書道、クラブ活動などの作品を通じ、子どもたちの様子が伝わったのではないかと思います。



<秋の麻績村を駆け抜ける！> 11月7日は、「マラソン記録会」が行われました。低学年は1km、中学年は2km、高学年は2.5kmを走る毎年恒例の行事。校庭を出発した子どもたちは、沿道に駆けつけてくださったお家の方々の温かな声援を受けながら、足を止めることなく、力一杯走り抜けることができました。自分へのチャレンジを経て、またたくましくなった子どもたちです。



<発見いっぱい！修学旅行> 6年生は、11月20、21日と修学旅行に行ってきました。国會議事堂内を見学したり、ミュージカルを鑑賞したり、江戸風鈴づくりを体験したり…途中、人のあふれる地下鉄などを乗り継ぐ場面もあり、東京の空気を身体いっぱい感じることができたようです。帰りのバスでは「ああ、修学旅行が終わっちゃう」「もっと、到着時刻を遅くして」と、名残惜しそうな子どもたちでした。



<出会いはチャンス> 5、6年生は、パラアイスホッケー日本代表の新津和良さんを講師にお迎えし、「車イスボールチャレンジ」を行いました。実際に競技用車イスを動かす体験をすることで、今まで知らなかったことに気づき、さらに関心をもつことができたようです。新津さんは「出会いはチャンス」とおっしゃっていました。この出会いは、子どもたちのこれからにもつながっていくことでしょう。



6学年が授業公開をしました

<小・中学校の職員で> 11月18日に、麻績小・筑北中の教職員による、小中合同研究会を行いました。

本年度、小中の職員が同じテーブルを囲み、回を重ねながら目指す麻績の子ども像を共有したり、そのような子ども像に向け、教職員としてどのような授業づくりをしていったらよいかについて考えたりしてきた研究会。本年度の取組を大きな一歩として、さらなる連携を深めていきたいところです。